資料3

議題３　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の改正等に伴う各市教育委員会の対応について（西尾市提出）

市名	回答			
	(1)ア 教育委員会規則等に定めるか	(1)イ【定めている(検討中、予定も含む)場合】 時期や内容	(2)ア 客観的な在校等時間の把握を行っているか	(2)イ【行っている(検討中、予定も含む)場合】 把握・記録する方法や導入スケジュール
名古屋市	検討中	在校等時間の上限方針の規定については、令和2年4月1日に施行。「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の服務を監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針」（令和2年1月文科省）に沿った内容となっている。一年単位の変形労働時間の活用に関する規程については検討中。	○	本市では、出退勤時に磁気カードをカードリーダーに通すことによって、一人一人の在校時間を管理している。管理職は、翌月15日までに前月の所属職員の勤務時間外在校時間について管理ソフトを使って集計し、市教育委員会へデータで報告している。
豊橋市	検討中	【7条のみ】 在校等時間の上限方針については、国のガイドラインに沿ったものを令和元年度中に校長会議にて周知しておりますが、教委規則に規定する必要性やプロセスについては、県教委がこの秋～冬にかけて示す予定のものを参考にしていきます。	○	豊橋市では、現在は職員独自のエクセル入力となっており、客観的な把握は行っておりませんが、今後ICカードリーダー等による出退勤時間の把握の必要性を認識しており、できるだけ早く導入を進めるためのスケジュールや予算要求をしたいと考えております。
岡崎市	検討中	国や県、他市町村の動向を見て判断していく	○	教職員が持つ校務支援パソコンを立ち上げる際に、必ず出勤時刻を入力しないと、作業に入れないような仕組みを作り、運用している。また、帰宅の際にも、帰宅時刻を入力するようにしている。
一宮市	×		○	R1.7から勤怠システムを導入し、在校時間を把握・記録している。
瀬戸市	検討中	瀬戸市では、制度導入にかかるプロセスについても現時点で判明していないため、愛知県教育委員会の動向を注視しながら検討していく。	行う予定	瀬戸市では、現在、独自のエクセル入力となっており、客観的な把握は行っていませんが、校務支援ソフトによる出退勤時間の把握を検討している。
半田市	検討中	愛知県教育委員会の動向を注視しながら検討していく。	検討中	令和３年度にタイムカードを導入予定。
春日井市	検討中	愛知県教育委員会の動向を注視しながら検討していく予定。	○	教職員一人一人にICカードを配付し、各校の共用PCにてチェックし、勤務時間の記録をしている。
豊川市	検討中	県や他市との情報の連絡を密にとり、その動向を注視して検討していく。	検討中	
津島市	定める予定	・愛知県教育委員会の動向を注視しながら検討。	○	出退勤務時間を正しく記録することにしており、市の校務支援システムに職員が個々に記録し、Excel 文書として打ち出し、毎月、市教委へ提出することで把握を行っている。
碧南市	検討中	愛知県教育委員会の動向を注視しながら、今後検討していく予定である。	×	現在、各自が学校独自の様式に在校時間を記録し報告しており、客観的な把握をしていない。
刈谷市	検討中	変形労働時間制等の扱いについては、国や県の動向を注視しながら検討することとし、学校における働き方改革に継続して取り組み、業務削減や在校時間の上限の遵守に努めていきたいと考えています。	検討中	今年度中に行う校務支援システムの更新を契機に、パソコンの電源を入れる、または、切ることで、在校等時間を把握できるシステムを取り入れる方向で、検討しています。
豊田市	検討中	県の条例追記や他市町の動向を確認しながら、本年度中に対応が必要かどうか検討中である。しかしながら、豊田市の「学校管理規則」に、時間外在校等時間の上限時間を追記することが不適当であること、例示されている時間（４５時間／月　等）が学校現場において現実的な数値ではないこと等の課題がある。	○	教職員が使用する校務パソコンのログオン・オフにより、教育委員会で一括管理している。各学校のデータ等は、各月ごとに集計し各校長に提供している。各学校は、従来の個人入力型の時間管理システムと併用しながら、勤務管理および健康管理を行っている。
安城市	×		×	
西尾市	議題提出市			
蒲郡市	検討中	規則改定検討（指針策定）を年内に行い、次年度には規則改定の方向で進めている。	行う予定	令和３年度から
犬山市	定める予定	未定	○	ＰＣの電源ＯＮ、ＯＦＦを基にして、在校等時間を把握している。
常滑市	定める予定	在校等時間の上限方針の規定（第７条関係）は定めるが、一年単位の変形労働時間の活用に関する規定（第５条関係）は、定めない。規則の改正については、８月の教育委員会定例会に付議する予定。	行う予定	現在は、職員独自のエクセル入力をしているが、９月より校務支援ソフト上の出退校システムを使用する予定。試験的に、４月より出退校システムを導入している。
江南市	定める予定	愛知県教育委員会の動向を注視し、近隣市町と歩調を合わせながら進めていく予定。	○	タイムカードにより、教員の出退勤時間の把握を行っている。
小牧市	×		検討中	現在は小牧市独自のエクセル入力となっており、客観的な把握は行っていないが、出退勤管理機能を既存の校務支援システムに追加することによって出退勤時間を把握することを検討しており、令和３年度当初予算に関係予算を計上し、令和３年度から対応する予定である。

資料3

議題３　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の改正等に伴う各市教育委員会の対応について（西尾市提出）

市名	回答			
	(1)ア 教育委員会規則等に定めるか	(1)イ【定めている(検討中、予定も含む)場合】 時期や内容	(2)ア 客観的な在校等時間の把握を行っているか	(2)イ【行っている(検討中、予定も含む)場合】 把握･記録する方法や導入スケジュール
稲　沢　市	検討中	愛知県教育委員会からの通知等があり次第、規則等の制定に向けて動き出す予定	○	令和２年７月、校務支援システムに勤退管理システムを機能追加した。 共用端末で各自が出勤・退勤時に打刻
新　城　市	検討中	現在、教育委員会規則での定めではなく、校長会の連絡事項等で、退勤時刻の制限や時間外勤務の月時間の上限を指示している。	○	出退勤の際に、職員室にある教師用の個人端末のボタンをタッチすると、自動的に校務支援システム上の管理簿に記録されるような「電子タイムレコーダー」を、令和２年４月から導入している。
東　海　市	定める予定	県の動向を確認して定める予定	行う予定	令和３年度の職員用ＰＣのリース機入れ替え時に導入を予定。ログイン時刻の自動打刻制。現在はアプリの選定中。今年度内に、モデル校で実施したい。
大　府　市	検討中	愛知県教育委員会の動向を注視しながら検討していきます。	行う予定	現在は職員独自のエクセル入力となっており、客観的な把握は行えていませんが、自前でシステムを開発し、出退勤ボタンを押す方式を予定しています。
知　多　市	検討中	県からの指示を待っている状態であり、近隣市町と足並みをそろえる必要があると考える。	○	昨年度までは、エクセル入力で管理していたが、R2年度より校務支援システム（C4th)で、出退勤時間を打刻している。休暇については、紙併用中。
知　立　市	検討中	今後、県、近隣市町の動向を研究し、在校等時間の上限を学校管理規則に盛り込んでいく予定である。変形労働時間制については、導入の可否から研究していく。	○	職員がエクセルファイルに入力して在校等時間を管理しているが、客観的な把握ができていると考えている。
尾 張 旭 市	×		○	タイムカードを導入している。
高　浜　市	定める予定	県教育委員会の動きを受けての対応となる。	行う予定	現在は教職員が出退勤時刻について、各自エクセルシートに入力しているが、校務支援システムを使っての入力への切替を予定している。
岩　倉　市	検討中	愛知県教育委員会の動向を注視しながら検討していくことにしています。	○	平成30年度に全小中学校にＩＣカードリーダーによるタイムレコーダーを設置し、毎日の出退勤時間を適正に記録・管理しています。
豊　明　市	検討中	愛知県教育委員会の動向を注視しながら検討していきます。	○	平成３０年４月より、各校にタイムレコーダーを導入しています。各校からの打刻データの集約により、出退勤時間を把握しています。
日　進　市	定める予定	在校等時間の上限方針の規定は、学校管理規則で定める予定。 時期及び内容は、愛知県教育委員会の動向を注視して検討していく。	○	平成30年5月からタイムカードを導入している。
田　原　市	検討中	県の動向と他市の対応について情報を収集し、市としての対応を考えたい。	検討中	安価に把握できる方法について情報を収集中
愛　西　市	検討中	未定	×	
清　須　市	検討中	愛知県教育委員会の動向に併せて定めていく。	○	タイムカードの導入
北名古屋市	○	在校等時間の上限方針の規定（第７条関係）について、学校管理規則の改正を令和２年３月教育委員会にて議決し、令和２年４月１日より施行。	○	平成３０年度より各学校にてタイムレコーダーを導入。各教職員の打刻データについては、専用ソフトにて一括管理。
弥　富　市	×		行う予定	各校において、タブレット画面から自身の欄をタップし出退勤時間の把握を行います。 ソフトは、校務支援システムを利用し8月から実施予定。
み よ し 市		・みよし市では、制度導入にかかるプロセスについても現時点では判明していないため、愛知県教育委員会の動向を注視しながら検討していきます。		・みよし市では、今年度よりＩＣカードリーダーにより出退勤時間の把握をしております。
あ　ま　市	×		○	学校に勤怠管理ソフトを導入しており、ICカードを使用して出退勤を記録している。
長 久 手 市	×		○	ＩＣカードリーダによる出退勤時間の把握